

第8回 公社債投資信託

運用報告書(全体版)

第56期（決算日2017年8月21日）

作成対象期間（2016年8月20日～2017年8月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限とします。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。また、各前期末までに金利水準、想定されるポートフォリオのインカム収入等を基に、各期の目標分配額を定め、その目標分配額の実現を目指して運用を行うことを基本とします。
主な投資対象	円建ての公社債（国債、政府保証債、地方債、金融債、事業債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回決算を行い、決算日の分配前の基準価額が元本（1万口当たり1万円）を超過する分を原則として全額分配します。決算日の分配前の基準価額が元本を下回っている場合、分配を行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額				新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	純資産額
		税分	込配 み金	期騰	中落 率			
54期(2015年8月19日)	円 10,000		円 錢 7.05		% 0.1	—	% 55.3	百万円 46,370
55期(2016年8月19日)		10,000		4.34	0.0	—	71.7	38,489
56期(2017年8月21日)		9,998		0.00	△0.0	—	61.2	32,558

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドは、決算時の元本の安定性に最大限配慮しつつ、目標分配額の実現を目指して運用を行なうことを基本としており、ベンチマーク等はありません。

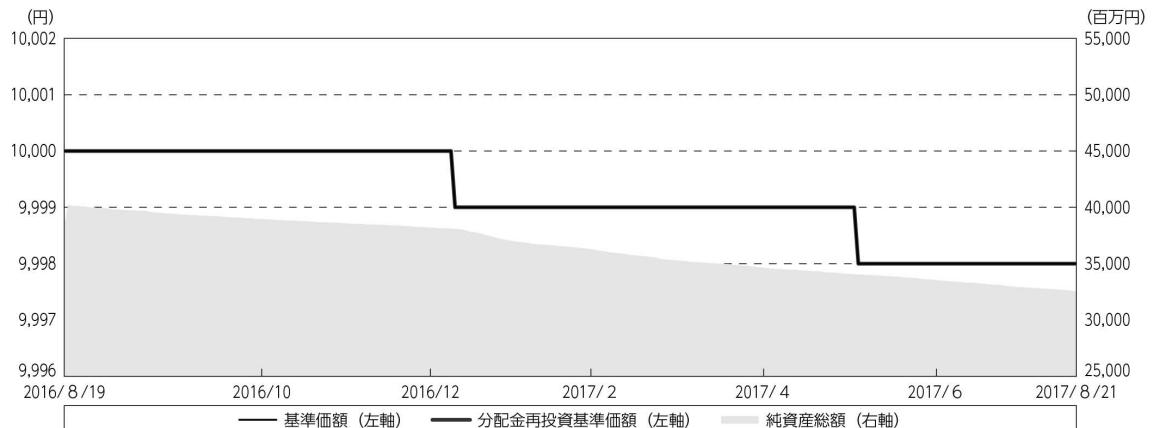
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	券率
		騰	落			
(期首) 2016年8月19日	円 10,000		% —	% —	—	% 71.7
8月末	10,000		0.0	—	—	69.1
9月末	10,000		0.0	—	—	74.1
10月末	10,000		0.0	—	—	75.4
11月末	10,000		0.0	—	—	74.5
12月末	10,000		0.0	—	—	73.1
2017年1月末	9,999		△0.0	—	—	69.1
2月末	9,999		△0.0	—	—	57.8
3月末	9,999		△0.0	—	—	48.5
4月末	9,999		△0.0	—	—	46.0
5月末	9,999		△0.0	—	—	48.6
6月末	9,998		△0.0	—	—	55.3
7月末	9,998		△0.0	—	—	57.0
(期末) 2017年8月21日	9,998		△0.0	—	—	61.2

*騰落率は期首比です。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首 : 10,000円

期 末 : 9,998円 (既払分配金 (税込み) : 0円00銭)

騰落率 : △0.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2016年8月19日) の値が基準価額と同一となるように指標化しております。

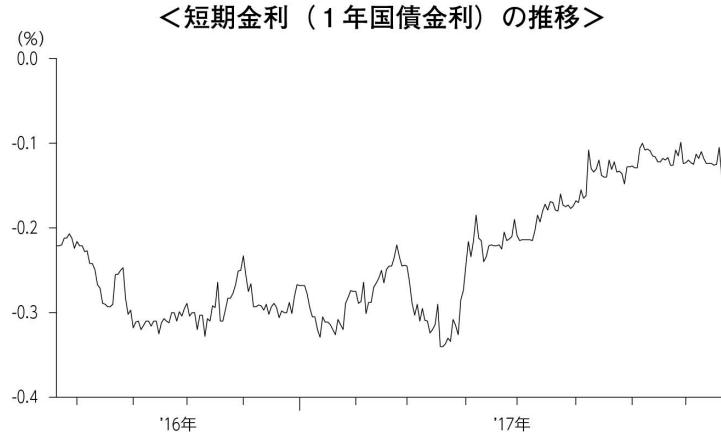
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境



*代表的な1年の円短期金利の指標である、1年国債金利の水準を示しています。

*債券利回りの低下は債券価格が上昇したことを示し、逆の場合は下落したことを示します。

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

このような中、日本銀行は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を継続し、2016年9月には、これらの政策枠組みを強化する意味合いから「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入しました。

1年国債金利は、期首より-0.2%から-0.3%程度で推移しましたが、2017年3月下旬以降は投資家の需要減退等を背景に利回りは上昇し、期末には-0.14%となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

決算時の元本の安定性に最大限配慮し、運用致しました。

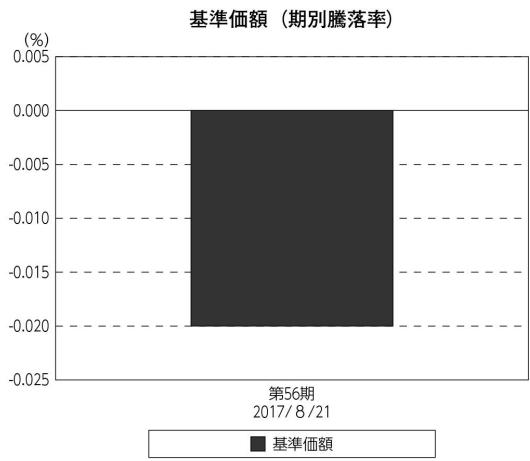
ポートフォリオに関しては、A格以上の信用力の高い発行体が発行する債券やコマーシャル・ペーパー（CP）を中心に組み入れるとともに、コール・ローン等で流動性を確保しました。

期末時点における組入比率は債券61.2%、CP29.2%となり、ポートフォリオの平均残存期間は0.48年となりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、決算時の元本の安定性に最大限配慮しつつ、目標分配額の実現を目指して運用を行なうことを基本としており、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

決算時の純資産総額が元本の額を下回った事から、分配を行ないませんでした。

◎今後の運用方針

当ファンドは安定した収益の確保を目指し、安定運用を行なうという方針のもと、残存1年以下の公社債を中心にポートフォリオを構築することを基本とします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、残存期間1年以下の公社債を中心に短期金融資産も含めマイナス幅の小さい投資対象を選定し、運用することを目指します。

マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。

また、第57期の目標分配額は1万口当たり0円程度と致しました。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

※マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。

(2016年8月20日～2017年8月21日)

○1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 0	% 0.001	(a)信託報酬=1万口当たり元本×信託報酬率
(投信会社)	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	0	0.001	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、9,999円です。			

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(2016年8月20日～2017年8月21日)

○売買及び取引の状況

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 16,628,472	千円 16,628,454
	地方債証券	2,670,115	— (8,322,120)
	特殊債券	7,695,433	— (14,160,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	10,982,364	— (6,400,000)

* 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

* 単位未満は切り捨て。

* ()内は償還等による増減分です。

* 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 28,000,187	千円 — (22,000,000)

* 金額は受け渡し代金。

* 単位未満は切り捨て。

* ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年8月20日～2017年8月21日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		B A	うち利害関係人 との取引状況D		C D	
公社債	百万円 21,347	百万円 605	% 2.8	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

国内公社債

(A) 国内(邦貨建) 公社債 種類別開示

区分	当期末						残存期間別組入比率	
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	5年以上			
					2年以上	2年未満		
地方債証券	千円 2,649,400 (2,649,400)	千円 2,665,667 (2,665,667)	% 8.2 (8.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 8.2 (8.2)	
特殊債券 (除く金融債)	1,600,000 (1,600,000)	1,602,721 (1,602,721)	4.9 (4.9)	— (—)	— (—)	— (—)	4.9 (4.9)	
金融債券	4,680,000 (4,680,000)	4,687,058 (4,687,058)	14.4 (14.4)	— (—)	— (—)	— (—)	14.4 (14.4)	
普通社債券 (含む投資法人債券)	10,918,000 (10,918,000)	10,967,953 (10,967,953)	33.7 (33.7)	— (—)	— (—)	— (—)	33.7 (33.7)	
合計	19,847,400 (19,847,400)	19,923,400 (19,923,400)	61.2 (61.2)	— (—)	— (—)	— (—)	61.2 (61.2)	

*()内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
地方債証券	%	千円	千円	
北海道 公募平成19年度第14回	1.68	158,400	159,771	2018/2/28
大阪府 公募第312回	1.6	441,000	445,175	2018/3/28
大阪府 公募(5年)第93回	0.285	500,000	500,948	2018/4/26
兵庫県 公募平成19年度第18回	1.58	900,000	908,105	2018/3/20
札幌市 公募(5年)平成25年度第2回	0.31	650,000	651,665	2018/6/20
小計		2,649,400	2,665,667	
特殊債券(除く金融債)				
日本政策投資銀行社債 財投機関債第51回	0.101	300,000	300,185	2018/3/20
東日本高速道路 第22回	0.401	200,000	200,667	2018/6/20
中日本高速道路社債 第47回	0.277	1,000,000	1,001,582	2018/3/20
中日本高速道路社債 第49回	0.501	100,000	100,285	2018/3/20
小計		1,600,000	1,602,721	
金融債券				
商工債券 利付第747回い号	0.3	100,000	100,003	2017/8/25
商工債券 利付第753回い号	0.25	100,000	100,122	2018/2/27
商工債券 利付第755回い号	0.3	460,000	461,001	2018/4/27
商工債券 利付第758回い号	0.4	100,000	100,357	2018/7/27
農林債券 利付第752回い号	0.3	550,000	550,711	2018/1/26
農林債券 利付第753回い号	0.25	410,000	410,530	2018/2/27
農林債券 利付第755回い号	0.3	100,000	100,203	2018/4/27
農林債券 利付第756回い号	0.3	260,000	260,591	2018/5/25
農林債券 利付第757回い号	0.35	100,000	100,290	2018/6/27
しんきん中金債券 利付第282回	0.3	800,000	801,793	2018/5/25
商工債券 利付(3年)第181回	0.15	1,000,000	1,000,772	2018/2/27
商工債券 利付(3年)第182回	0.14	200,000	200,162	2018/3/27
商工債券 利付(3年)第184回	0.15	300,000	300,312	2018/5/25
商工債券 利付(3年)第185回	0.14	200,000	200,204	2018/6/27
小計		4,680,000	4,687,058	
普通社債券(含む投資法人債券)				
中部電力 第418回	2.7	200,000	204,057	2018/5/25
中国電力 第314回	2.875	100,000	101,927	2018/4/25
中国電力 第354回	1.905	100,000	101,431	2018/5/25
北陸電力 第281回	1.97	100,000	101,319	2018/4/25
東北電力 第385回	2.95	100,000	101,965	2018/4/25
東北電力 第416回	0.83	200,000	201,380	2018/6/25
北海道電力 第296回	2.027	100,000	101,633	2018/6/25
北海道電力 第315回	0.82	1,818,000	1,827,961	2018/4/25
みずほコーポレート銀行 第32回特定社債間限定同順位特約付	0.27	400,000	400,447	2018/1/24
三菱UFJ銀行 第143回特定社債間限定同順位特約付	0.34	100,000	100,226	2018/4/23
三菱UFJ信託銀行 第3回特定社債間限定同順位特約付	0.51	200,000	200,799	2018/6/5
日立キャピタル 第46回社債間限定同順位特約付	0.447	1,000,000	1,003,194	2018/6/20
日立キャピタル 第59回社債間限定同順位特約付	0.15	100,000	100,086	2018/3/20
東京急行電鉄 第63回社債間限定同順位特約付	2.16	600,000	610,141	2018/6/6
日本電信電話 第54回	1.82	500,000	505,186	2018/3/20
N T T ドコモ 第19回社債間限定同順位特約付	0.21	100,000	100,089	2018/1/24
東京瓦斯 第17回社債間限定同順位特約付	2.625	300,000	306,106	2018/6/11

銘柄	利 率	当 期 末		
		額面金額	評価額	償還年月日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE	0.02	400,000	400,000	2017/9/20
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LE	0.02	200,000	200,000	2017/10/11
mitsubishi UFJ LEASE & FINANCE	0.02	100,000	100,000	2017/12/12
mitsubishi UFJ LEASE & FINANCE	0.02	1,000,000	1,000,000	2018/4/17
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LE	0.02	500,000	500,000	2018/4/18
TOKYO CENTURY CORPORATION	0.015	1,000,000	1,000,000	2018/5/22
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LE	0.015	500,000	500,000	2018/5/23
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LE	0.02	600,000	600,000	2018/6/12
mitsubishi UFJ LEASE & FINANCE	0.02	200,000	200,000	2018/6/14
mitsubishi UFJ LEASE & FINANCE	0.02	100,000	100,000	2018/7/11
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LE	0.02	100,000	100,000	2018/7/12
TOKYO CENTURY CORPORATION	0.015	200,000	200,000	2018/7/27
小計		10,918,000	10,967,953	
合計		19,847,400	19,923,400	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内その他有価証券

区分	分	当 期 末	
		評価額	比率
コマーシャル・ペーパー		千円 9,500,182	% 29.2

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年8月21日現在)

項目	当 期 末	
	評価額	比率
公社債	千円 19,923,400	% 61.0
その他有価証券	9,500,182	29.1
コール・ローン等、その他	3,221,178	9.9
投資信託財産総額	32,644,760	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年8月21日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	32,644,760,928
地方債証券(評価額)	3,186,206,801
特殊債券(評価額)	2,665,667,483
社債券(評価額)	6,289,780,146
その他有価証券	10,967,953,353
未収利息	9,500,182,549
前払費用	20,208,421
(B) 負債	14,762,175
未払解約金	86,021,220
未払信託報酬	85,609,316
未払利息	403,443
その他未払費用	4,657
(C) 純資産総額(A-B)	3,804
元本	32,558,739,708
次期繰越損益金	32,565,905,764
(D) 受益権総口数	△ 7,166,056
1万口当たり基準価額(C/D)	32,565,905,764円
	9,998円

(注) 期首元本額は38,489,371,029円、期中追加設定元本額は1,742,916,637円、期中一部解約元本額は7,666,381,902円、1口当たり純資産額は0.9998円です。

○損益の状況 (2016年8月20日～2017年8月21日)

項目	当期
(A) 受取利息等収益	円
受取利息	150,399,357
支払利息	153,891,387
	△ 3,492,030
(B) 有価証券売買損益	△157,545,141
売買益	193,959
売買損	△157,739,100
(C) 信託報酬等	△ 728,247
(D) 当期利益(A+B+C)	△ 7,874,031
(E) 前期繰越損益金	6,989
(F) 解約差損益金	700,986
(G) 計(D+E+F)	△ 7,166,056
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 7,166,056

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円00銭0厘
----------------	---------

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

③金利先渡取引および為替先渡取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞